

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に添った接遇マナーを実践できていない	入居者様、ご家族様、お客様に安らぎを感じていただける施設となる。	毎月、理念に添った具体的な目標をたて実践する。よりよい接遇マナーが実践できるよう個々で意識すると共にスタッフ間でも声を掛け合っていく。	6ヶ月
2	10	運営推進会議が定期的開催できていない為、ご家族に日頃の様子を伝えきれていない。	入居者様、ご家族様、スタッフが共に生き、安心した暮らしを継続することができる施設となる。	日頃の暮らしがわかってもらえるよう、写真や手紙等請求書に同封し郵送する。また、面会に来るのが難しいご家族には電話で近況を報告する。	6ヶ月
3	33	看取りに関する指針を作成し、入居時に説明しているが、看取りについて現場に即したマニュアル作成ができていない。	ご本人、ご家族様、スタッフが共に情報共有し、不安なく看取りケアを行うことができる。	看取りケアの研修を行い、今後看取りケアを行っていくうえでの不安課題を出し合う。課題をもとに緊急時の対応や看取り対応をマニュアル化する。	6ヶ月
4	4	2ヶ月に1回運営推進会議を開催できていない。	定期的な会議を開催し、ご家族や地域の方との交流の場としても発展していける様な取り組みを行う。	運営推進会議要綱を策定する。掲示し、ご家族や来館者にも運営推進会議の目的を理解して頂く。	6ヶ月
5	35	定期的な消防訓練や自主点検を実施していくと共に非常災害時に備え、水や食料品等の備蓄ができていない。	定期的な避難訓練を実施し、防火管理者による月1回の自主点検を強化し、安心安全な暮らしを守る。	早急に水や食料品の備蓄を行う。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。